

道路技術小委員会 土工分野会議からの報告

道路技術小委員会 土工分野会議 座長報告

◇ 土工分野会議において、以下の2つの議題について専門的見地から検討したので、その状況を報告する。

◇防災・減災に関する検討事項について

- 近年の被災事例と得られた教訓等については、被災に至ったメカニズムの把握に努め、関係者に必要な情報を共有していくことが有効である。
- 大雨や地震による橋梁の被災や低温等による舗装の被災等は、橋梁分野会議や舗装分野会議でも議論を進め、連携して取り組んでいく必要がある。
- 「今後の対応の方向性(案)」について、各ハザードの基本的な考え方(想定する外力の規模や規模に応じた対応レベル)を示したうえで、具体的な対策を整理していく必要がある。

(道路土工構造物点検要領の改定について)

- 令和4年度に、道路土工構造物点検要領(暫定版)により試行した結果などを踏まえた改善がなされており、今回の改定は有意義であると思う。
- 今回の改定で、点検表記入例に例示する健全性診断の所見欄に記載すべき内容は、記入例だけにとどめず、点検要領本文等でもその趣旨が伝わるようにしてほしい。
- 新技術活用促進のためのカタログ作成・公表前であっても、現地での実証中の技術やその他、点検に有効な技術については活用できるようにしてほしい。

◇道路における太陽光発電設備の設置に関する技術面の考え方(案)について

- 維持管理等の観点から原則設置不可とするのは良いが、将来的には、今後の技術革新等の状況を踏まえて設置可能な箇所も出てくる可能性があることに留意されたい。
- 新たな点検手法・点検技術利用時の障害にならないことが必要である。
- 設置する場合は、以下の留意する必要がある。
 - 長大斜面や高盛土等の構造物の大きさや災害リスクを踏まえて設置する必要。
 - 排水処理を適切に実施する必要。
 - 太陽光発電設備が風を受けることで基礎に引き抜き力が作用し、のり面が不安定化する可能性。
 - 工事中の足場等の仮設まで含め、影響が無いよう考慮する必要。

道路土工構造物分野会議 委員名簿

◎座長

【技術小委員会委員】

笹原 克夫 高知大学 教育研究部 自然科学系理工学部門 教授
◎常田 賢一 大阪大学大学院 名誉教授

【実務委員】

岩切 昭義 日本測量調査技術協会((株)パスコ)
上野 将司 全国地質調査業協会連合会((株)応用地質)
石川 堅一 国土交通省中部地方整備局 道路部道路管理課 課長補佐
大粒来茂樹 建設コンサルタンツ協会(国際航業(株))
杵淵 健一 気象庁 大気海洋部 気象リスク対策課 防災気象官
佐藤亜樹男 (株)高速道路総合技術研究所道路研究部斜面防災研究担当部長
辻井 伸治 奈良県 県土マネジメント部 道路保全課 主幹
中谷 洋明 国総研 土砂災害研究部 土砂災害研究室長
中原 伴章 三重県三重郡菰野町 都市整備課 工務係長
山田 直樹 新潟県十日町市 建設部 建設課長

【審議状況】

第 9回 令和2年 9月17日
第10回 令和2年10月30日
第11回 令和3年 6月28日
第12回 令和3年 9月 8日
第13回 令和4年 2月 2日
第14回 令和4年 3月 8日
第15回 令和5年 1月23日
第16回 令和5年 2月27日